



校長室の窓

がっこう ちいき げんき

学校や地域を元気にするあいさつをしよう

ふくえしやう ちゆうがっこう ちゆうがっこう ちゆうがっこう
 福栄小・中学校のチャレンジ目標である「山口県一の福栄のみ・そ・あ・じ」の「あ」
 は、相手より先に元気な「10mのあいさつ（少し離れた所から、元気な声で相手より先
 にするあいさつのことです）」と心がこもった会釈です。「山口県一」がついているとい
 うことは、「山口県一、相手に気持ちよく伝わるあいさつ」を福栄小・中学校のみんな
 で身に付けていこうということです。下の「あ・い・さ・つ」で、今の自分のあいさつを
 振り返ってみてください。

あ…相手（**あ**いて）の顔を見て、あいさつ・会釈をしていますか？

せつかく大きな声であいさつをしても、相手の顔を見ないあいさつでは、気持ち
 が伝わりません。相手の顔をしっかりと見て、相手の心にあいさつを届けましょう。
 丁寧な会釈を添えると、さらに気持ちよく伝わります。

い…**い**い顔で、あいさつをしていますか？

あいさつをしても、ブス～とした顔でのあいさつだと、相
 手には気持ちが伝わりません。いい表情であいさつをしま
 しょう。



さ…相手より先（**さ**き）にあいさつをしていますか？

5月2日の全校集会でも話をしましたが、あいさつは相手より先にしてこそ意
 味があるのです。相手から「おはようございます」「こんにちは」と声をかけられ
 て、返すあいさつになっている人はいませんか？ あいさつは「先手」が大切です。

つ…相手に気持ちよく伝わるあいさつを続（**つ**づ）けていますか？

何事も意識して続けてこそ、身に付くものです。意識せずにできるようになっ
 たら、それは本物です。まずは、毎日、気持ちのよいあいさつをしようと思
 意識することからスタートです。

この「あ・い・さ・つ」を「いつでも」「どこでも」「誰に対しても」「何度でも」続け
 てください。きっと「山口県一、相手に気持ちよく伝わるあいさつ」が身に付くはず
 です。

さて、授業中、外からのお客様や他の先生が授業を見に来られた時はどうす
 ればよいのでしょうか。授業に集中しなければならぬので、声を出してあいさつする
 必要はありません。しかし、相手を見て軽く会釈ができるようになりましょ
 う。それが「時と場に応じたあいさつ」です。

相手に気持ちよく伝わるあいさつは、学校を元気に、そしてさわやかな雰囲気
 にします。地域の人を元気にします。あいさつにはそんな大きな力がある
 のです。地域の人に元気なあいさつを届けることは、小中学生のみんなが
 地域のために毎日できることです。